

2022年3月期 第2四半期決算説明資料

2021.10.29

テクノホライゾン株式会社
代表取締役社長 野村拡伸



目次

1. 2022年3月期（第12期）第2四半期決算概要
2. 2022年3月期（第12期）通期業績予想の修正
3. トピックス
4. Appendix
事業セグメントの変更について

1. 2022年3月期（第12期） 第2四半期決算概要

- 3 -

(1) 2022年3月期第2四半期 損益サマリー

単位：百万円

	2021年 3月期 第2四半期	2022年 3月期 第2四半期	増減	増減率
売上高	9,754	13,995	+4,241	+43.5%
営業利益	138	82	△55	△40.2%
経常利益	88	149	+61	+69.5%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	34	△130	△165	-

前年度実績比

増収減益

増収要因：

- ・ 1Qに引き続き経済活動が再開した海外を中心に売上増
- ・ M & A企業の連結化

減益要因：

- 販管費の増加
 - ✓ 経常的費用
 - ① 将来の事業拡大に備えた積極的な人員採用・拠点整備
 - ② M & Aした企業の連結化による従業員増
 - ③ 連結化によるのれんの償却
 - ✓ スポット費用
 - ④ M & A手数料
- 最終利益：
 - 合併差益に対する法人税の課税負担が期中に一時増加

- 4 -

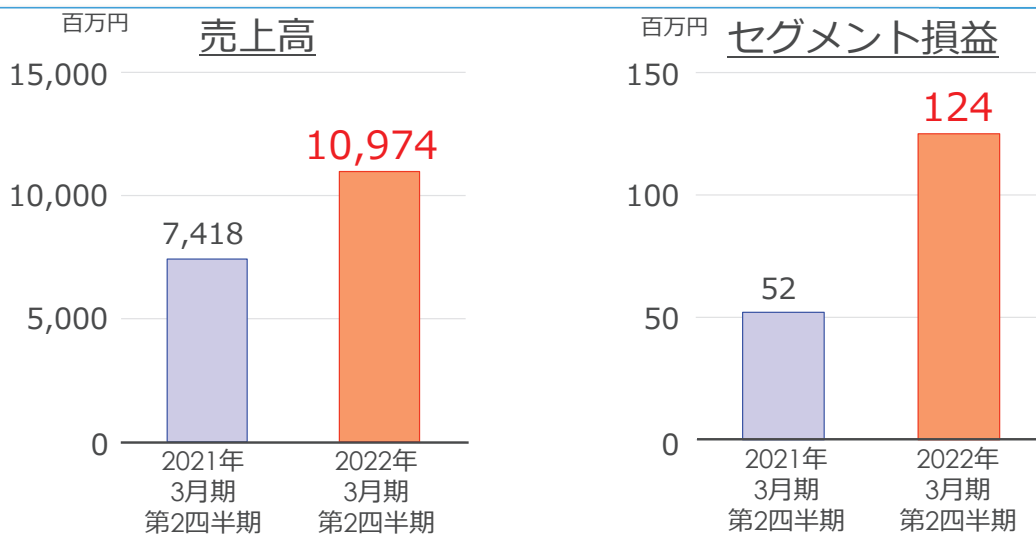
(2) 事業セグメント別売上高サマリー

単位：百万円

売上高	2021年 3月期 第2四半期	2022年 3月期 第2四半期	増減	増減率
映像&IT	7,418	10,974	+3,555	+47.9%
ロボティクス	2,335	3,021	+686	+29.4%
売上合計	9,754	13,995	+4,241	+43.5%

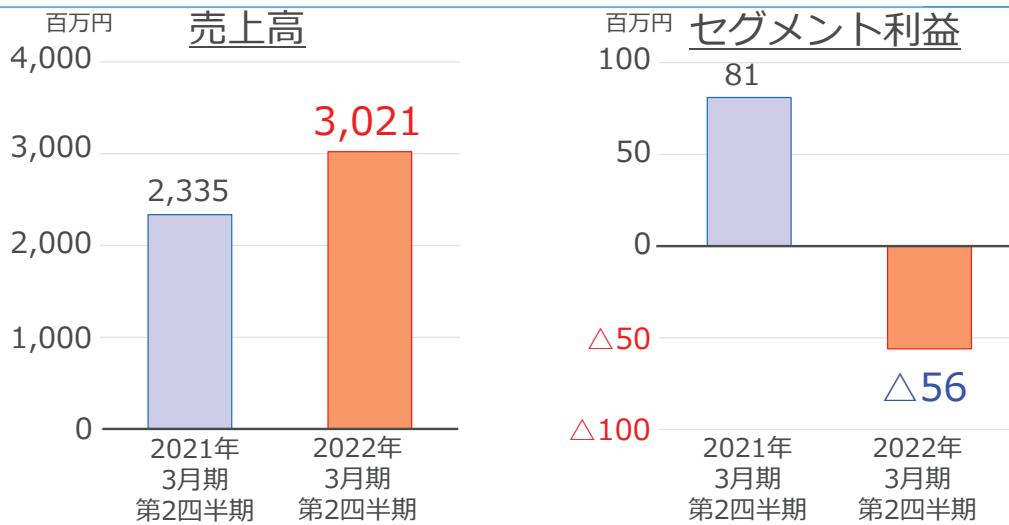
- 5 -

(3) 映像&IT事業セグメントの損益



- ・教育関連：引き続き欧米を中心にリモートワーク環境の設備需要が旺盛、国内は想定下回る
 - ・業務用車載器：半導体等電子部品の調達難で予想下回る
 - ・ESCO (シンガポール) の連結化による増収増益効果
 - ・成長に向けた積極投資等で①経常的な経費②臨時的な経費で販管費が増加してセグメント利益縮小
- 主に①人員増（連結の範囲変更・積極採用）や拠点整備、のれん償却②1Q計上のM & A手数料（166百万円）

(4) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ 中国市場は労働力不足から来る自動化・省力化ニーズ高く堅調に推移
- ・ 国内市場は緊急事態宣言の影響による需要減と半導体等電子部品の調達難で想定下回る
- ・ 当第2四半期に実施したM & Aの手数料計上（115百万円）により販管費が増加

- 7 -

(5) 2022年3月期第2四半期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2021年 3月期末	2022年 3月期 第2四半期末	増減
流動資産	21,378	21,523	+145
固定資産	7,595	10,738	+3,142
資産合計	28,976	32,262	+3,288
流動負債	15,117	17,431	+2,314
固定負債	4,521	5,753	+1,232
負債合計	19,638	23,184	+3,546
株主資本	8,927	8,472	△454
その他の包括利益累計額	407	604	+196
純資産合計	9,335	9,077	△258
負債純資産合計	28,973	32,262	+3,288
自己資本比率	32.2%	28.1%	△4.1pt

- ・ 在庫：製品製造を見据えた積み増し
- ・ M & A：現預金減少、関係会社株式増、連結化でのれん増、資金調達

【流動資産】

- ・ 現金及び預金：△3,453百万円
- ・ 受取手形及び売掛金：△672百万円
- ・ 在庫：+4,114百万円

【固定資産】

- ・ 有形固定資産：+653百万円
- ・ 無形固定資産：+1,664百万円
- ・ 投資その他の資産：+824百万円

【流動負債】

- ・ 買掛金：+1,980百万円
- ・ 短期借入金：+292百万円

【固定負債】

- ・ 長期借入金：+1,094百万円

【純資産合計】

- ・ 利益剰余金：△454百万円
- ・ 為替換算調整勘定：193百万円

- 8 -

(6) 2022年3月期第2四半期 連結損益計算書①

単位：百万円

科 目	2021年 3月期 第2四半期	2022年 3月期 第2四半期	増減
売上高	9,754	13,995	+4,241
映像&IT事業	7,418	10,974	+3,555
ロボティクス事業	2,335	3,021	+686
売上原価	7,051	9,874	+2,822
売上総利益	2,703	4,121	+1,418
販管費	2,564	4,038	+1,474
営業利益	138	82	△55
映像&IT	52	124	71
ロボティクス	81	△56	△137
※調整額	4	14	10

- 9 -

(6) 2022年3月期第2四半期 連結損益計算書②

単位：百万円

科 目	2021年 3月期 第2四半期	2022年 3月期 第2四半期	増減
営業外収益	31	119	+87
営業外費用	82	52	△29
経常利益	88	149	+61
特別利益	89	15	△73
特別損失	3	4	+1
税金等調整前当期純利益	174	161	△13
法人税等	139	291	+152
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34	△130	△165

- 10 -

2. 2022年3月期（第12期）通期業績予想の修正

- 11 -

（1）2022年3月期 業績予想（期首予想との差異）

単位：百万円

	2022年 3月期 期首予想	2022年 3月期 修正予想	増減	増減率
売上高	33,000	36,500	+ 3,500	+ 10.6%
営業利益	3,000	2,000	△1,000	△33.3%
経常利益	2,900	2,000	△900	△31.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,300	1,500	△800	△34.8%

- 12 -

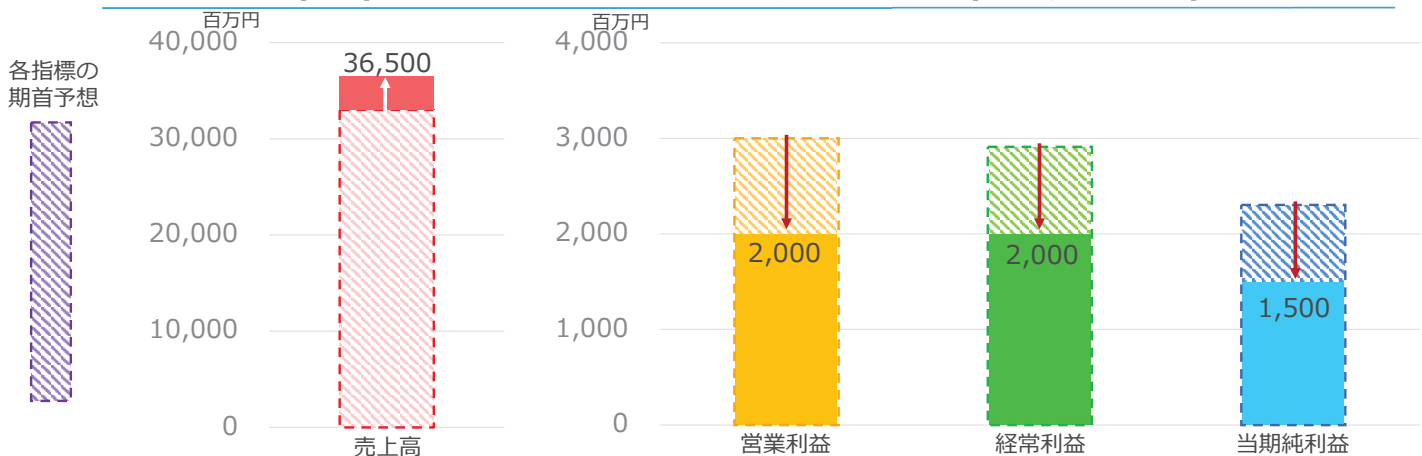
(2) 2022年3月期 業績予想 (前期比較)

単位：百万円

	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 修正予想	増減	増減率
売上高	26,481	36,500	+10,018	+37.8%
営業利益	2,420	2,000	△420	△17.4%
経常利益	2,533	2,000	△533	△21.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,147	1,500	△647	△30.1%

- 13 -

(3) 期首予想との乖離理由 (増収減益)



上期：将来の成長に向けた拠点整備や人員採用及びM&Aを積極的に推進

主な買収実施事例

2021年5月：Pacific Techグループ
2021年9月：アポロ精工株式会社

買収した企業の業績が、下期に当社グループの業績に寄与し、**期首予想よりも増収**見込む

利益面

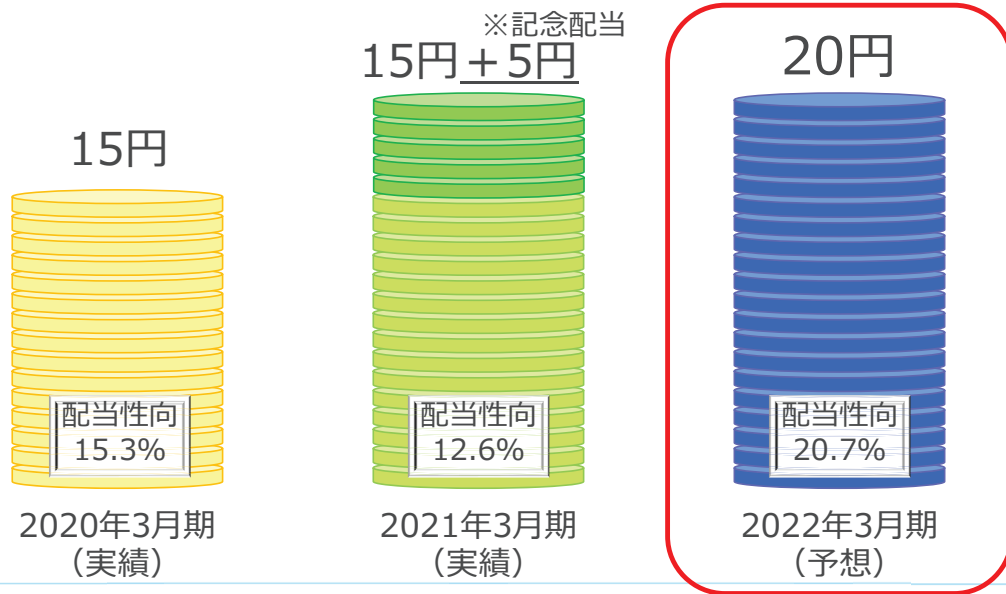
現経営環境を鑑み、**当期実行した投資の収益化が当初計画より時間がかかる**と判断

- ✓ 映像&IT事業の主力である教育市場向けの書画カメラや電子黒板の国内販売が前期の需要増の反動により、想定を下回り推移
- ✓ 映像&IT事業とロボティクス事業ともに半導体部品の調達難の影響を強く受け、価格の上昇により収益を圧迫

- 14 -

(4) 2022年3月期 株主還元

年間配当予想 : 年間1株あたり20円



- 15 -

3. トピックス

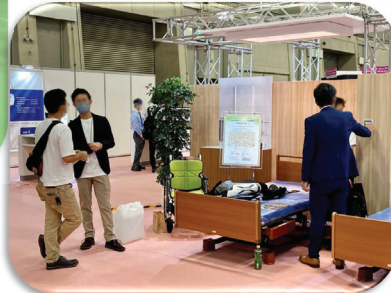
- 16 -

(1) プライベート展示会

テクノホライゾングループソリューションフェア2021

- 4月 : in東京
- **9月 : in名古屋 (写真 : フェアの様子)**

厳重なコロナ対策をしつつ、大切なお客様と意見交換/商談



(2) オンライン授業支援

学習の
オンライン化
はじめの一歩

オンライン授業における
実物投影機の活用例

Hotedu Growing



詳しくみる

<https://hoteduup.jp/online/index.html>

ICT教材の取扱い



株式会社学研教育みらい



(3) 工場のDX化支援

オフィス・IT等商品の購入に活用

働き方改革推進支援助成金を
活用して働きやすい職場づくりを
目指しませんか？



働き方改革推進支援助成金を活用すると、
商品の購入に対して助成が受けられます。

デジタルホワイトボード
TABLET Communicator
VisualCheckEye etc.
幅広く活用できます

★ 助成金のメリット ★

助成上限額	助成率
100～200万円	4/5 [10人未満] 3/4 [10人以上]

※購入金額の2割・7割は助成です。

定価60万円デジタルホワイトボードの場合
→ 助成率3/4: 45万円が助成されます
→ 助成率4/5: 48万円が助成されます



AIで作業を監視する

作業の番人

あなたの作業をAIでチェック

AI POSE ESTIMATION WORK ORDER
SIMPLE CHECKER

タブレット・コミュニケーター

低コストで迅速・確実に
工場革新をサポート

1 様々な現場データ



2 タブレット・
コミュニケーターにて
現場データを収集

3 集計/分析結果を
ダッシュボードに表示
(見える化)



(4) パートナー企業と介護現場の業務支援



株式会社ティービーアイ
株式会社ブルーオーシャンシステム



アイザック株式会社



(5) 第2四半期に当社グループ入りした企業



自動はんだ付けのベストパートナーとしてグローバル展開
1978年に世界初の自動はんだ付けロボット発売

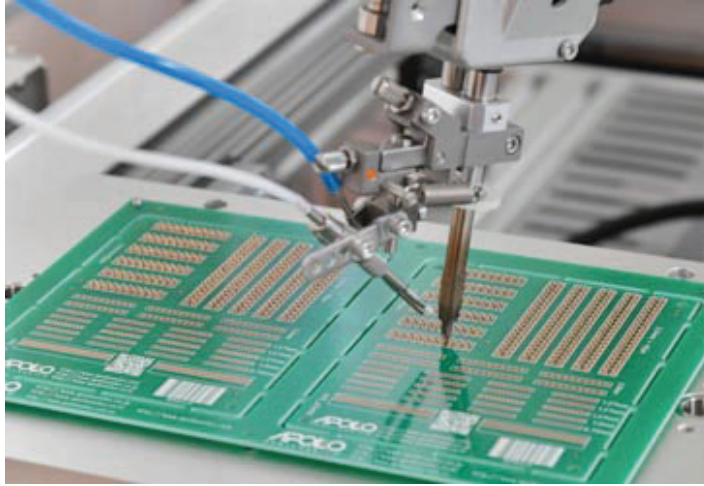
コテ工法

手作業の置き換え



スリーブ工法

定量・安定を両立可能



<https://www.youtube.com/user/apolloseiko/videos>

レーザー工法

非接触、微細部品、狭ピッチに最適



セレクトティブ工法

超大容量基板や多数ポイント向け



(6) 当社グループの最適化



想像する楽しみ、創造する喜び。



アナログ/IPネットワーク

一部
事業譲受



サーマル



クラウド

一部
事業移管



エムディテクノスから社名変更
愛媛と愛知の工場から
「AI」を駆使し「新たな風」を起こす



AIND

— Ai · Wind —

一部
事業移管



装置事業



BI事業



TIETECH

(7) 当社及びグループ企業の功績

エルモカンパニー

マネジメントシステム部
インフォアベストパートナー 功労賞受賞



市川ソフトウェアラボラトリー

デジタルカメラグランプリ2022
「RAW現像ソフト」部門
通算25回目の**金賞**受賞



<https://silkipix.isl.co.jp/product/dsp10/>

Appendix

～事業セグメントの変更について～

(1) 当社の技術で実現を目指す社会

豊かな社会
Sustainable Society

テクノホライゾングループが目指す「豊かな社会」とは、
全世界の子どもからお年寄りまでだれ一人として取り残されることなく、
持続可能な地球環境の中で笑顔で過ごせる社会です。

映像&IT ロボティクス

私たちは「映像 & IT」と「ロボティクス」技術で
豊かな社会の実現を目指します。

(2) 「映像 & IT」「ロボティクス」で切り開く未来

「映像 & IT」と「ロボティクス」技術をを基盤に、
7つの事業で4つの市場に新たな世界を切り拓く。

教育 安全・生活 医療 FA

学校教育ソリューション事業

マンシビジョン事業

オフィス・経営ソリューション事業

ロボットソリューション事業

セキュリティソリューション事業

医療ソリューション事業

自動車ソリューション事業

(3) 「映像&IT事業」及び「ロボティクス事業」について

当社は、「教育」「安全・生活」「医療」「FA」の4つの市場に対し、映像&IT技術、ロボティクス技術により、持続可能で豊かな社会を実現するための仕組みやソリューションを提供いたします。

「映像&IT事業」

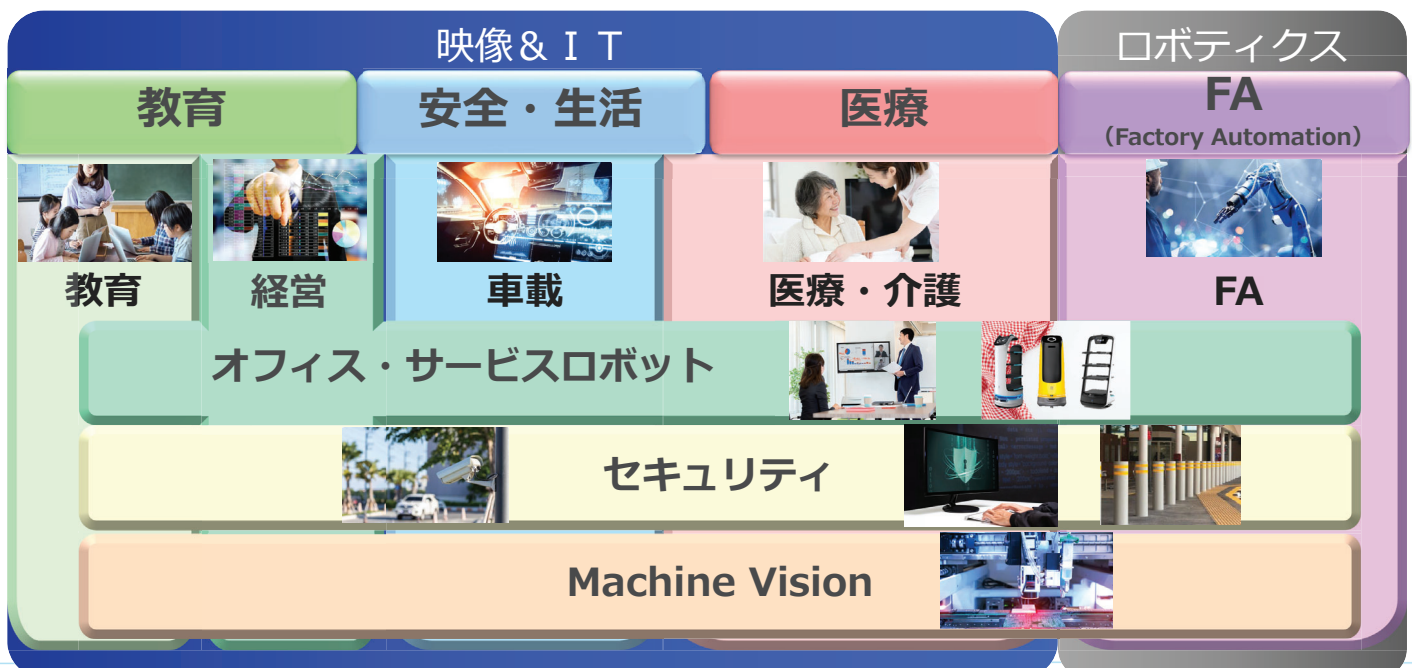
- 映像機器（光学技術、および画像処理技術）、IT機器・サービス（各種センサーを組み込んだIoT技術、およびクラウドサービス）、さらにこれらを組み合わせ各種製品・サービス・ソリューションの提供※

※ 電子黒板、書画カメラ、セキュリティカメラ、車載用カメラ、経営管理ソフトウェア、画像処理ソフトウェア、他クラウドサービスなど

「ロボティクス事業」

- ロボット工学により自動化、省力化、省人化、最適化で、人々を補助・支援するロボット制御機器の設計・製造・販売

(4) 重点4市場と7ビジネス領域



将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

I R 担当窓口

- 役職： 取締役経営企画部長
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： info@th-grp.jp

TECHNO HORIZON CO., LTD.

風に向かう

TECHNO HORIZON CO., LTD.

TECHNO HORIZON
テクノホライゾン株式会社

TIETECH

ELMO

Finefit Design

TECHNO HORIZON GROUP

ADS

Knowledge
Imaging
Technology **KIT**

ELMO K-GRANDE
CORPORATION

AIND
— Ai · Wind —

ITL

BlueVision

ESCO
EXCELLENCE DELIVERED

fine 株式会社 **ファインシステム**

Pacific Tech

市川ソフトラボラトリー

APOLLO
APOLLO SEIKO